



な め 川

第111号

発行日
発行
発行者
事務局
印刷

令和元年7月20日
滑川学区コミュニティ推進会
滑川地区社会福祉協議会
遠藤進
滑川交流センター Tel. 22-1654
日立高速印刷

今年市政
施行80周年
を迎え、「自
分の地域は
自分の創意
と努力でつ



近年は、急速に高齢化が進むとともに、ライフスタイルの多様化や働き方の環境の変化などから、コミュニティを構成する自治会、町内会等の解散や退会者が増加しており、日頃の活動への影響が懸念されています。一方で、地域における課題は、福祉や防災など年々高度化・複雑化しています。コミュニティがこれまでどおり適切に対応していくためには、組織体制の強化や、実施事業の見直しも必要になってきます。

滑川学区コミュニティ推進会総会は、去る4月20日（土）に大会議室で町内会長、各種団体代表者83名の出席のもと開催されました。「安心・安全な住みよいまちづくり」を目指し基本方針を掲げました。また、今年新たに環境対策として、町内で管理しているごみ集積所のボックス設置等に補助することが了承されました。

平成31年度（令和元年）の総会開催

●基本方針

くりあげる「この町に住んで良かった」と実感できる、地域の実情に応じた事業に取り組んでいきます。



功労者表彰

北川をきれいにする会
前会長 田尻智也さんが
清掃功労者として表彰
されました。



ゴミボックス設置費用を補助します

コミュニティ推進会総会で了承されました

- (1) 目的
町内で管理しているごみ集積ボックスの設置費等の経費の一部をコミュニティ推進会環境部の予算内で補助します。
- (2) 補助対象者
ごみ集積所を設置、管理する滑川学区の町内会
- (3) 補助対象経費
 - ・燃えるごみ集積ボックス等の購入費 (20,000円/基)
 - ・自ら集積ボックス等を作成する場合の材料費のみ (20,000円以内)
 - ・修繕費 網等の補修等 (8,000円以内)
 - ・集積所ボックス等設置敷地の借地料実費 (5,000円以内/箇所)
- (4) 募集期間：第1期（各町内会3基まで）
令和元年7月20日～8月31日
※申請書・補助事業概要等の書類は交流センターにあります。
お問い合わせ：滑川コミュニティ推進会 環境部
22-1654 滑川交流センター内

令和元年度

滑川学区コミュニティ推進会 専門部等委員

◎会長・部長・代表 ○副会長・副部長・副代表

文化 部

文化祭等文化関係の事業を行う

- ◎田中 宣子 西野宮信夫 田口 哲夫
○佐藤 正司 薮 智恵子 永井 収
○生田目 進 阿部 猛 谷田部正三
内藤 正一 大森 二六 山中 則明
青木 幸栄 金谷 長雄 平山 元氣
田尻とし子 皆川 一夫 遠藤 友義

役員・総務部(企画委員会)

毎月1回の会議を開催、事業計画と全体の状況把握を行う

- 会 長 遠藤 進 環境部長 館川 好
副会長(滑川宿) 田中 宣子 広報・文化部長 田中 宣子
副会長(後久保) 館川 好 健康部長 川上 哲男
副会長(滑川台) 山田 利直 ホタルの里親代表 棚谷 格
副会長(滑川浜) 遠藤 一男 青少年育成部長 木村 統
副会長(山下町) 村上 善朝 自主防災会副本部長 蛭田 隆
副会長(かみあい) 齋 政勝 監 事 大島 靖子
地区社協代表 田中 宣子 監 事 沼田 泰行
総務部長 遠藤 一男 事務局(会計) 菊地 英樹
永山 堯康 岩間 広 磯 光雄 沼田 勝寛
戸祭 勇夫 中島 裕信 岡村 勝夫 和田 浩司
土田 宏 中川 洋子 青木 勲 川和 進
遠藤 浩二 澤井 昭一 矢吹 盛一 内藤 正一

青少年育成部

青少年の健全育成事業の推進

- ◎木村 統 神長 重美 小林 康一
○俣田 輝美 天下井輝美 仁平 三男
佐藤 文憲 平井 茂男 坂本 善久
後藤 和彦 伊藤 哲男

健 康 部

ファミリーまつり、歩く会等の事業を行う

- ◎川上 哲男 紀本 国明 佐々木清一
○澤井 昭一 石田 勇次 中島 裕信
山田 利直 皆川よし江 鈴木 孝雄
磯 光雄 村上 絢子 立川 光弘
根本 道弘 小園 文男 大塚 映子
永瀬 昭男 斉藤 英一 横場 正良
塚野 春夫 和知 久男 鈴木 綾香
久保田直正 高林 友子 木名瀬隆則
神長恵美子 小林 敏男 我妻 努
遠藤 一男 井川 國男 泉 達也
村上 善朝 吉田 和宏 坂本 晃一
鈴木まさ子 大越 学 鈴木 秀暢
秋元 智之 早坂 英明 河上 博
肥塚 茂行 永井 行雄 原田 実能
鈴木 則子 阿部 公仁 岩瀬 達夫
大武 正則

◎大武みどり(食生活改善推進員)

広 報 部

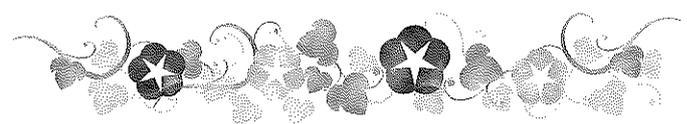
地域の広報紙を発行する

- ◎田中 宣子 館川 好 根元 直子
○久保田直正 遠藤 一男 菊池真由美

環 境 部

地区内の環境美化事業の推進

- ◎館川 好 大楽 敏朗 小川 忠男
○遠藤 一男 滑川 豪男 大坪 和典
棚谷 格 名須川好一 阿部 哲朗
田中 宣子 布施川好子 松本 俊吉
山田 利直 小林 賢二 矢野 清
村上 善朝 森 義和 小林 勤司
齋 政勝 大森 光男 大部 毅
戸祭 勇夫 宮本 和一 江尻 弘人
磯 光雄 芳賀 文雄 萩原 勇
内藤 正一 品川 勝男 菅原 啓二
佐藤 正春 和田 進 久保田和孝
小野寺健也 根本 隆文 荒井 利広
高田 松雄 鈴木 武雄 生畑 良仁
川野辺政行 沼田 修司 遠藤 順一
佐川 政行 石井 友美 岡沢 道美
高安 一夫 五島 勇美 岡本 誠司
豊田 寛 公賀 正明 興野 利夫
室井 孝 鈴木 公英 大森 幸男
井川 國男 角田 賢一 飯村源太郎



令和元年度の主な行事予定

Table with 2 columns: 月 (Month) and 行事名及び実施日 (Event Name and Date). Rows include events like 夏まつり, 滑川地区敬老会, 滑川地区文化祭, 新春のつどい, 施設利用説明会.

◎町内会・子ども会の行事計画にお役立てください。()内は予定日

なめかわホタルの里親役員

定期的にホタルの里の清掃・小学校と協力して幼虫の飼育

- ◎棚谷 格 館川 好 豊田 寛
- 永山 堯康 佐川 政行 室井 孝
- 大畠 靖子 高田 松雄 井川 國男
- 田中 宣子 川野辺政行 大楽 敏朗
- 小野寺健也 高安 一夫

子ども会育成会

学区役員・単会会長

- ◎木村 統 増子 義一

滑川岡通り街路樹を守る会

定期的に滑川岡通りの清掃実施

- ◎山田 利直 沼田 泰行 金田 英雄
- 高安 一夫 村上 善朝 田尻 智也
- 折原四司男 中嶋 正明 菊地 英樹
- 小野崎邦雄

違反広告物追放推進員

学区内の違反広告物の撤去

- ◎小野崎邦雄 森田 進 加藤 正男
- 川野辺政行

不法投棄監視員

学区内をパトロール・不法投棄物を市に報告

- ◎遠藤 一男 田頭 博幸 菊地 英樹
- 門脇 隆男 佐藤 正春

スポーツ推進員

スポーツ関係の指導

- ◎小田倉洋子 大窪 徹

消費生活サポーター

クーリングオフ等の相談に応じる

- ◎中川 洋子

自主防災会

学区内に8つの自主防災団が組織されている

- 本部長 遠藤 進 救出救護部長 磯 光雄
- 副本部長 蛭田 隆 給食給水部長 川野辺君子
- 情報連絡部長 岡村 勝夫 事務局 遠藤 一男
- 防災部長 渡辺 光夫 事務局 菊地 英樹
- 避難誘導部長 永瀬 昭男 事務局 鈴木 則子

- 第1自主防災団 ◎石井 照夫 (滑川宿地区 642世帯)
- 第2自主防災団 ◎矢代 清光 (滑川浜地区 170世帯)
- 第3自主防災団 ◎山田 利直 (滑川台地区 424世帯)
- 第4自主防災団 ◎館川 好 (後久保地区 169世帯)
- 第5自主防災団 ◎村上 善朝 (山下町地区 453世帯)
- 第6自主防災団 ◎菅原 啓二 (上田沢地区 87世帯)
- 第7自主防災団 ◎久保田和孝 (県営アパート254世帯)
- 第8自主防災団 ◎佐川 康弘 (かみあい地区726世帯)

女性防火クラブ

地域の防火に対する啓発活動

- ◎川野辺君子

土木委員

道路に関する要望等を取りまとめ市に提出

- ◎遠藤 昭男 館川 好 藤井 善隆
- 和田 浩司 村上 善朝

滑川学区高連(笑和会)

- ◎青木 勲 豊田 寛 室井 孝
- 佐伯 幸一 渡辺 二郎 菊地今朝雄

北川をきれいにする会

北川の清掃・ホタルの育成に協力

- ◎戸祭 勇夫 遠藤 隆利



令和元年度 滑川学区コミュニティ推進会予算書

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	摘要
繰越金	108,258	平成30年度より繰り越し
補助金 (日市より)	1,713,000	単会活動補助 680,000 生涯学習活動費 660,000 青少年地区活動助成金 50,000 地域わんぱく隊事業補助金 60,000 親子教室事業補助 20,000 違反広告物追放推進活動補助 18,000 自主防災訓練補助 150,000 環境活動助成 55,000 再発見ウォーク助成金 20,000
再生資源回収 報償金	1,199,046	平成29年度下期~平成30年度上期分 599,046 (実績) 平成30年度下期+平成31年度上期 600,000 (見込)
会費	322,245	3,255世帯×@99
その他	187,451	利息・市報事務手数料等
合計	3,530,000	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	摘要
総務	1,200,000	生涯学習活動費660,000、夏まつり170,000、 滑川マップ作成300,000他
環境	750,000	ごみ集積所助成600,000、花いっぱい運動助成、 地域の環境整備、清掃活動、落書き消し他
文化	250,000	文化祭250,000他
広報	250,000	会報2回発行及び特集号印刷代、会議費他
青少年	160,000	研修会、パトロール経費、親子教室、会議費、 子ども会助成他
健康	300,000	ファミリーまつり170,000、 健康づくり推進員活動助成30,000、 食生活推進員活動助成40,000他
自主防災	150,000	自主防災訓練経費、防火クラブ助成、研修費他
おたふ事業	50,000	ホタルの里づくり事業他
その他	50,000	新春のつどい、笑和会助成他
小計	3,160,000	
会議費	70,000	総会、企画委員会他
通信費	30,000	郵送料、はがき・切手代
事務費	190,000	事務機器リース料、コピー代他
予備費	80,000	いきいき茨城国体対応経費
合計	3,530,000	

みんなで支えるまちづくり

令和元年度滑川地区社会福祉協議会の総会が、4月13日（土）に行われ、今年度の活動がスタートしました。その活動はボランティアの皆様のご支援ご協力によって支えられています。

近年の少子高齢化社会に対応するため、日立市コミュニティ推進会の活動計画にも「地域福祉活動」が掲げられました。

自治会・町内会の解散や退会者が増える状況の中、地域の人間関係はますます希薄になっております。「遠い親戚より近くの隣人」と言われるように、いざというときには地域のつながりが一番です。ささえ合いで笑顔のある地域にしていきたいと思います。



令和元年度 滑川地区社協の事業計画

【基本方針】

少子・高齢化社会を迎え、滑川地区においても安全安心な暮らしのできる取組みが重要です。各種団体と連携し協働のもと、住民参加の福祉活動を推進して参ります。

目標

1. 地域福祉の基盤強化と福祉活動の推進
2. 互いに支え合う体制づくりと支援活動事業
3. ふくし支援の情報収集と実態把握

◎総務部

1) 協働体制の強化

- ① 関係機関団体と連携し後継者の育成
- ② 地区社協、民児協連絡協議会の開催
- ③ 各種会議の開催、活動拠点の整備

2) 福祉活動の推進

- ① 視察研修、健康講演会(7/3)、協力者との情報交換
- ② 募金活動の推進、福祉相談（随時午前中）
- ③ 三世代ふれあい事業の推進

◎あんしん支援部

1) ネットワーク事業

- ① 巡回安全サービス事業の実施（11月）
市社協、安心ネットワーク事業研修会参加
- ② 市社協あんしんネットワーク事業研修会
- ③ あんしん安全ネット対象者の支援体制づくり
（近隣協力者の把握）
- ④ 避難行動要支援者名簿の実態把握と登録台帳の整備
- ⑤ 福祉マップ帳の補足更正及び経年変化（通年）
- ⑥ 《滑川あんしんカード》の普及推進
- ⑦ 緊急通報システム利用の推進

- ⑧ 高齢者等避難訓練の実施

【滑川地区自主防災訓練と連携】（10月）

- ⑨ ひとり暮らし高齢者の会食会
- ⑩ 諸団体の福祉活動に対する支援協力
- ⑪ 選択事業「提案型地域福祉事業」
（3年目 福祉マップの充実）

◎ふれあい支援部

1) 介護予防事業

- 滑川ほほえみ健康クラブ（毎月第1・3金曜日）
- 山下ほほえみ健康クラブ（毎月第1・3月曜日）
- ふれあいサロン（4会場、延33回）

2) 子育て支援事業

- おもちゃライブラリー（毎月2～3回木曜日）
ベビーシッター（随時）

3) 三世代ふれあい事業

- ふくしまつり
（模擬店、健康相談、子ども遊びコーナー）

◎広報部

「なめ川」 年2回編集発行…事業計画、各活動の状況等
「号外」 随時発行…福祉活動の啓発等

令和元年度 滑川地区社会福祉協議会役員

会 長	遠藤 進	あんしん支援部部长	遠藤 静江
副 会 長	館川 好	あんしん支援部副部长	永井 幸子
	総務部部长 兼任	ふれあい支援部副部长	村上 絢子
	地域福祉推進員	ふれあい支援部副部长	折原 伸枝
副 会 長	田中 宣子	広報部部长・書記	久保田直正
	事務局局長 兼任	会 計	館川 好
	ふれあい支援部部长		田中 宣子
	地域福祉推進員	監 事	木村 統
副 会 長	青木 勲	監 事	土田 宏
	高齢者生きがい対策担当		

ボランティア募集

- おもちゃライブラリー
- サロン
- 健康クラブ

いつでも
おまちしております
ボランティアしながら
自分も楽しみましょう

連絡は ☎ 22-1681
または ☎ 22-1654へ

おもちゃライブラリー おもちゃを購入しました



からだを使って遊ぶ

小さなブランコ・滑り台・ジョイントマット・大きなボールなど、小さなお子さんにも楽しんでいただけるような物を購入しました。

お子さん同士のお友だち、お母さん同士のお友だちをみつけて楽しい子育てをしましょう。



お子さんと楽しい工作

* 今後の開催日程 *

月1~3回木曜日(祝祭日除く)

毎月の『ひまわり』でご確認ください。
参加される方は飲料水をご持参ください。



さい。どうぞご参加ください。

康に介的きしたに音楽たのオトラ間お集
ク元護を果、健康戻っ参だの曲カランを過願団
ラ元認定をた、健康戻っ参だの曲カランを過願団
ブ元認定をた、健康戻っ参だの曲カランを過願団
の元認定をた、健康戻っ参だの曲カランを過願団

滑川ほほえみ
健康クラブ
音楽鑑賞会
4月19日金沢音楽
集団の皆様に出演を
お願いして楽しい時
間を過ごしました。

令和元年度 滑川地区社会福祉協議会収支予算書 (収入の部)

科目	予算額	摘要
1. 繰越金	39,757	前年度繰越金
2. 市社協負担金	1,622,000	基本事業 1,108,000 指定事業 ふれあいサロン 277,000 指定事業 ふれあい健康クラブ 170,000 指定事業 おもちゃライブラリー 72,000 選択事業・提案型地域福祉事業(3年目) 5,000
3. 雑収入	8,243	原子力立地金、預金利子、他 30,000
合計	1,670,000	

(支出の部)

科目	予算額	摘要
1. 運営費	780,000	
1) 事務運営費	780,000	事務局(推進員)活動費用弁償
2. 事業費	887,000	
1) 総務部	244,000	研修会、講演会、交通費他 通信費(電話、パソコン、はがき、切手)他 会議費(総会、役員会、部員会) 事務室管理(備品、消耗品)他
2) あんしん支援部	55,000	あんしん・安全ネットワーク事業 ひとり暮らし高齢者の会食、話し合う会
3) ふれあい支援部	348,000	ふれあいサロン事業(ほほえみサロン) ふれあい健康クラブ事業(ほほえみクラブ) 地域型おもちゃライブラリー事業おもちゃ 購入費用 子育て支援事業(ベビーシッター) 三世交流事業 ふくしまつり事業 諸活動支援事業(幼稚園交流)
4) 提案型事業	150,000	提案型地域福祉事業(3年目)
5) 広報部	90,000	広報「なめ川」発行 特集号発行
3. 予備費	3,000	
合計	1,670,000	

健康講演会開催

滑川地区社協主催による健康講演会が、7月3日滑川交流センターで「関節症予防と受診のタイミング」のテーマのもと開催されました。

講師は嶋崎病院院長 嶋崎直哉先生にお願いしました。当日は89名のご参加をいただき、又質問も活発に行われ、関心の高さを伺い知ることができました。先生の分かりやすいご講演に出席者の皆さんも満足されたことでしょう。



美しい海を!

車を停めてながめるときれいな水と波打ち際の砂浜がありました。

しかし足元の草むらに目をやると、そこにはポイ捨てされたゴミ袋がありました。よくある風景です。

7月15日は海の日でした。滑川浜の清掃活動も再開されました。

ゴミは持ち帰りましょう!!

「笑和会」の会長になりました



青木 勲

高齢者クラブの知識など、皆無の新米会長です。

滑川学区のコミュニティ推進会で長らく活動されている中学校の先輩が一言。『行事や作業など、「自分ひとりで行う」などと溜め込まずに皆に仕事を振り分けるのがリーダーの役目だ』と。

この一言で「ホッ」として肩の荷がおりました。世界的にも類を見ない「国民皆保険」により、高齢者が増えています。

そこで「笑和会」では『元・氣・で・長・生・き』を目標に活動します。

元々氣はつらつ

氣分よし

で出会いの挨拶は真っ先に

長年お世話になった方々に

生いかすは地域の〇〇活動で恩返し

き今日も良い日でありますように

私は、家族や社会に迷惑がからぬように「ピンピンコロリ」を目指したいと思っております。

ここで川柳

日帰り

行ってみたい天国へ

皆様はいかがでしょう。

65歳以上の高齢者が増えているのに「高齢者クラブ」に加入する方が増えていません。
「子ちゃんに叱られないように」あなたも是非参加して、一緒に若返りましょう。
日常生活が充実する事マチガイなし。あなたの電話を、滑川交流センターで待っています。

なめっこ開講



6月14日(金)今年度の“なめっこクラブ”が開講しました。

最近早くから幼稚園や保育園に通う傾向があり、参加するお子さんの低年齢化がすすみ0歳～2歳児が中心になっています。リトミックや七夕飾り作りなど、お母さんも楽しめます。

10月の芋掘りに備えて、先日さつまいもの苗も植え付けました。おいしいお芋たのしみです。

2月には家族皆でカレー会食。お子さんの成長が確認できます。



6/14 太田先生のリトミックで汗をかいた後で...

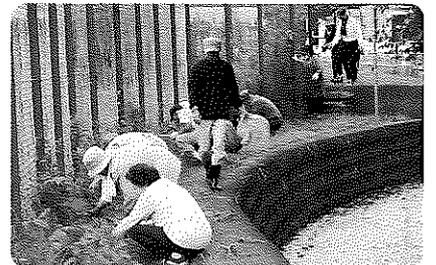
東滑川地区開発その後

工事が進められていた東滑川海浜緑地公園は7月10日リニューアルオープンしました。遊具も設置されトイレも完備されました。

来年3月には、ショッピングモールも完成し、さらに利用しやすくなり、市民の憩いの場となるでしょう。

北川清掃 6/23 に実施しました

253名の方が参加しました。参加者のほとんどが高齢者で、作業が困難なことが課題になりました。

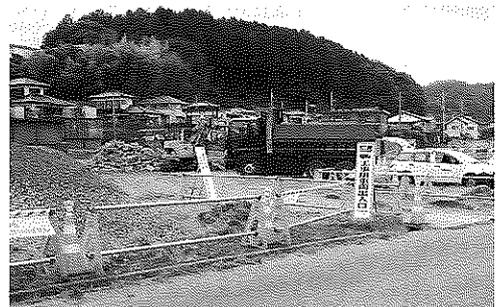


市営住宅の建設工事が始まりました

滑川本町聖徳保育園前の敷地に、3階建 4棟 72戸の市営住宅の建設が始まりました。

入居開始は令和3年春と予定されています。

この工事に伴い道路改修工事が始まっており、大型車の通行も多くなっております。付近を通るときは充分注意してください。



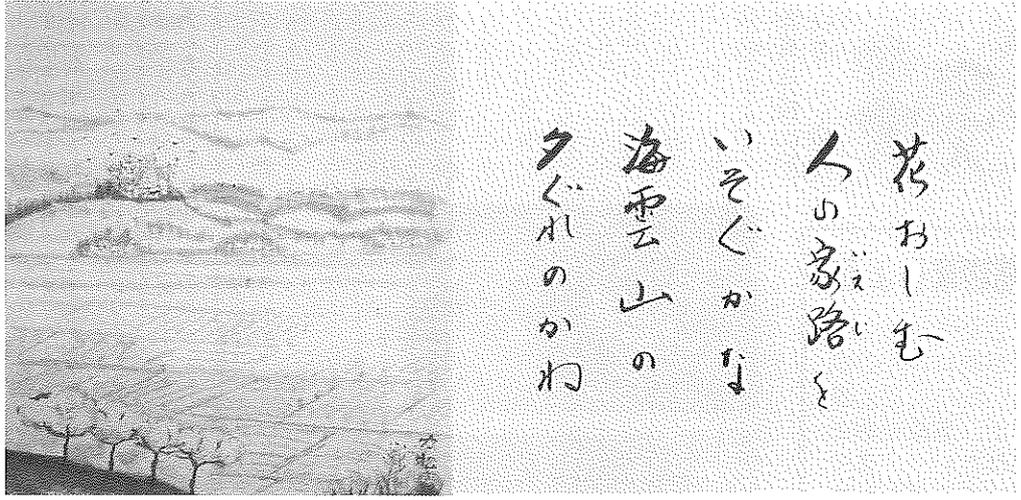
滑川の魅力を見なおそう！滑川をふるさとにしよう！

滑川ウォッチング | 滑川の歴史を学ぼう！

滑川八景

出典

滑川ウォッチング
文・須藤 重秋 氏
景勝・史跡めぐり
絵・田山 力松 氏



海雲山の晩鐘
かいうんざん ばんしよう

滑川浜、金沢モータース(元PTA会長宅)の東側の小高い丘に「海雲山観音院」がある。地域住民に「観音院」と呼ばれ、檀家が多い。

ここからは、太平洋が一望でき、二月ともなると、梅の香りが春の訪れを知らせてくれる。このお寺を訪ねて、まずびっくりすることは、本堂の襖、天井がすばらしい日本画で埋めつくされていることである。この寺の御住職梶浦氏の力作ばかりで、時間をかけて見せていただくと心暖まる思いがする。

曹洞宗観音院は海雲山と号し、もとブダイ(現在地より数百メートル西)にあったが、天正3年宮田村杉室の大雄院九世吉山元利が、小幡館主小野崎氏の請により開基したという。

大正2年(1913年)堂宇を焼失し、同7年線路を越えた現在地に移り再建された。

滑川のみならず、田尻・小木津・宮田などにこの寺を檀家とするものが多い、その意味でも、地域の文化信仰の中心となっていたことがわかる。

梶浦氏は、読経の中に御詠歌もとり入れられ、檀家のみならずお参列者に、わかりやすい説話をしてくださるので、御詠歌の練習に寺を訪れる人も多いと聞いている。

夕ぐれの中、刻を告げる鐘の音を聞くと、人々は家路へ急ぎ、夕餉の膳を家族で囲みながら、今日一日の無事を感謝し、明日の息災を祈ったことと思われる。そして、しずかに夜がふけていったのである。

私が滑川小を去る年、当時6年生であった田尻満君の版画「観音院の庭」が県展で教育長賞を受けた。記念にゆずっていただいたその作品は、今わが家の佛壇の上に、額に入ってわが家族を見つめ見守っている。そして、この版画を見るたびに、三年間の子もたちとのふれあいをあたためている滑川小は、やはり、私の心のふるさととなってしまったようである。

◇このシリーズは昭和59年1月8日滑川小学校PTAで刊行しました小冊子「滑川八景」を引用させていただいております。

子どもたちの登下校時の見守りにご協力ください (青少年育成部)

春の歩く会に参加して

5月19日(日) 矢祭山散策に参加させていただきました。参加者43名は準備体操をしてから3グループに分かれて、それぞれの班長の指示のもとに行動開始。

最初に矢祭山駅前駐車場から矢祭神社までの急斜面の坂や階段を、息も絶え絶えに登り、神社に参拝しました。

矢祭山公園ではつつじのシーズンが終わっていたのは残念でしたが、雑木林の山道には、緑一色の景色が広がっていて、心地よい風が全身を包んでくれたのでリフレッシュできました。

赤い「鮎のつり橋」から眺めたゆったりした久慈川の流れや、水郡線走るカラフルな電車・芝生に座って食べたおにぎりが美味しかったことなど、日常とは少し違った贅沢感も味わいました。

歩いた歩数は約一万歩でしたが、足元が不安定な坂や、高さの違う階段が連続した場所での一万歩だったので、足腰も悲鳴を上げていました。最後の整理体操のおかげもあって徐々に快復し、翌日には平常に戻る事ができました。

この機会に地域の皆さま方との交流のきっかけができたことに感謝いたします。ありがとうございました。



須藤 千恵子

運転事故を防ぎましょう!

車のない生活を考えると不便な事ばかりが頭に浮かびます。車じゃないからこそその楽しみを見つけて、事故を起こす不安から逃れたい…。多くの方が悩んでいると思われます。運転者も歩行者も安全を充分確認しましょう。

**安全
運転**

ホタル舞う!!

「ホタルが飛び交う地域にしたい」と、始まったホタルの里づくり。

平成12年に「滑川ホタルの里づくり委員会」を結成し、滑川小学校のホタル少年団、ホタルの里親とともにホタルの棲むまちづくりの活動をしてまいりました。毎月の清掃から、ホタルの飼育などホタルの生息しやすい環境づくりをし、5月に幼虫を放流、6月中旬には観賞会を行ってきました。

今年は幼虫の放流ができなかったため、ホタルが飛ばないのでは…と、期待と不安の中この時期を待っていました。

6月の暖かくなってきたある日の夜、滑川小学校東側のホタルの里へ行ってみると、暗闇の中飛び交う光が見えました。さらに、滑川小グラウンド脇の車道側へ歩いていくと、幻想的な光景が目に入ってきました。通りすがりの方が歓声をあげてしまうほど。

今までの活動が実を結び、自然繁殖でホタルが舞ったのです。来年もたくさんのホタルに会えるのを期待して、ホタルの里の見守りにご協力をお願いします。そして、6月のホタル観賞時期に足を運んでみてください。ホタルの乱舞する姿に感動することでしょう。



子どもが巻き込まれる中、悲しい事件を耳にすることが増えました。児童虐待・高年齢者の交通事故：防げない事故もたくさんあります。子どもたちへの交通指導・見守り、高齢者のからの免許返納、できることから一緒に始めてみませんか?地域、学校、家庭が連携をとり、あんしん安全のまちづくりを目指して!

編集後記

祭 第7回滑川学区 ふれあい夏まつり

「令和元年!羽ばたけ!滑っ子!」

とき 8月3日(土) 15時~
[雨天の場合は8月4日(日)に延期になります]

ところ 滑川交流センター駐車場

15時の花火が合図です!